

富士川かりがね橋架橋記念  
富士川橋開通100周年記念



橋の歴史

はしからはしまで...

第60回企画展

# 東海道にかけると 富士の橋

古写真 完成した富士川橋 大正13年(1924)7月



東海道分間絵図(部分) 元禄3年(1690) 静岡市東海道広重美術館蔵

2024.  
1.20 sat. » 3.10 sun.

会場 本館2階 特別展示室⑤・⑥

休館日 月曜日(祝休日は開館)、2/13(火)

開館時間 9:00~16:30

観覧料 無料

## 富士山かぐや姫ミュージアム

〒417-0061

静岡県富士市伝法66-2

TEL 0545-21-3380

FAX 0545-21-3398

<https://museum.city.fuji.shizuoka.jp/>





# 東海道に架ける 富士の橋

本展示会では、富士川かりがね橋の架橋と富士川橋開通一〇〇周年を記念して、富士地域の東海道に架けられた橋の歴史を中心に、橋のもつ多様な側面をご紹介します。

令和六年三月、「富士川かりがね橋」の開通が予定されています。  
富士川かりがね橋が開通する富士市岩本・木島のあいだは、古代から江戸時代前期にかけての東海道が通っていた場所で、この地に橋が架けられることは街道交通の歴史から考えると必然なのかもしれません。  
江戸時代までの東海道は主に渡船で富士川を渡っていました。そして今から一〇〇年前の大正十三年（一九二四）に、鉄筋コンクリートの富士川橋が架けられ、富士川に常設の橋が架けられる時代がはじまりました。  
橋を架ける目的は、人やモノを行き交いやすくすることですが、橋を架けることが政治的な意味を持つたり、結果として橋が架けられた場所が名所となったりすることもありました。

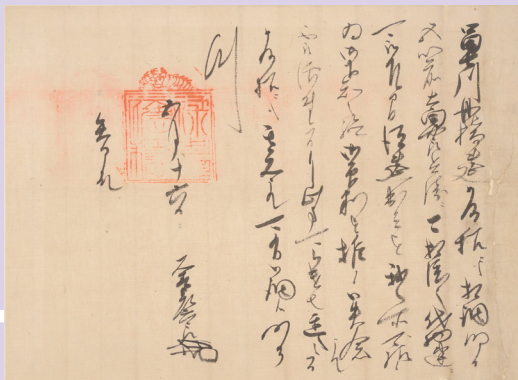


建設中の富士川かりがね橋の様子 令和4年(2022)2月

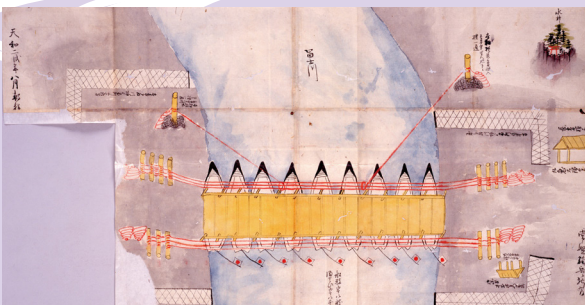
## 富士山かぐや姫ミュージアム



円山陵墓参考地 単鳳環頭把頭 古墳・飛鳥時代 宮内庁書陵部蔵



北条家朱印状(永禄11年(1569))5月16日 矢部家文書 個人蔵(当館寄託)



天和二年八月朝鮮人來朝二付富士川船橋絵図 天和2年(1682) 国文学研究資料館蔵

### イベント情報

お申し込みは電子申請にて(左QRコード参照)  
いずれも1月20日(土)9:00から受付開始

#### ◆講演会「橋が持つ文化的・精神的な役割 ～聖と俗の架け橋～」



講師：雨宮 久美 氏 (日本大学講師 博士(文学))  
日時：2月3日(土)13:30～15:30  
会場：富士市交流センター 会議室1(富士市富士町20-1)  
定員：60名(先着順) 受講料：100円(資料代)

#### ◆フィールドワーク「ちょっとお先に!? 富士川かりがね橋を渡らせてもらおう！」



日時：2月25日(日)9:30～12:00  
集合場所：富士市立岩松中学校テニスコート駐車場  
定員：30名(先着順) 受講料：無料  
内容：歩いて富士川かりがね橋を渡し、雁堤や富士川の渡船・舟運について解説します。(※総距離3.5km程度)  
協力：静岡県富士土木事務所

#### ◆ナイトミュージアムトーク：担当学芸員による講座室での座学と企画展の解説



① 考古：2月16日(金) ② 中世：2月23日(金祝)  
③ 近世・近代：3月1日(金)  
時間：18:30～20:00  
会場：富士山かぐや姫ミュージアム本館 講座室・展示室  
定員：各回30名(先着順) 受講料：無料

#### < 交通・アクセス >

- 路線バス  
吉原中央駅③番線に乗車、広見団地入口下車 徒歩3分
- 高速バス  
東名高速富士ICより徒歩20分
- 自動車  
西富士道路 大淵・広見ICより1分
- 電車(JR線)  
富士駅、新富士駅、吉原駅より車で15～20分



〒417-0061  
静岡県富士市市法 66-2  
TEL 0545-21-3380  
FAX 0545-21-3398  
<https://museum.city.fuji.shizuoka.jp/>





富士山かぐや姫ミュージアム 第六〇回企画展 東海道にける富士の橋  
 展示資料一覧 \*は複製展示、※はパネル展示  
 (会期 令和六年(二〇二四)一月二〇日~三月十日)

No.	資料名	所蔵先	作者等	年代	指定
1	吉原漆及び東海道図	個人蔵/長橋家文書		明治時代初期	
2	松岡村東街道往還鹿図面	富士市立中央図書館/松永家文書		江戸時代後期	
3	富士市指定史跡鹿出上品	富士市教育委員会		近世・近代	
4	東海道名所記 二 小田原より江尻まで	相模女子大学附属図書館	浅井了意	万治二年頃(一六六〇)	
5	東海道名所記 上巻 自武州江府至駿州江尻	当館		江戸時代後期	
6	富士山立体図	当館	秋里薩島	寛政九年(一七九七)	
7	東海道名所記 四	当館	村山興法寺坊	江戸時代後期	
8	駿河國富士山繪圖	当館	遠近道印(作)	元禄二年(一六九〇)	
9	東海道分間絵図 二	静岡市東海道広重美術館	菱川師宣(画)	文化三年(一八〇六)	重要文化財
10	五海道其外分間延絵図並見取絵図 三卷 ※(東海道分間延絵図)	東京国立博物館	道中奉行所	文化三年(一八〇六)	
11	富士山表口頂面之圖	当館	太田駒吉	明治十三年(一八八〇)	
12	一遍上人絵伝 巻六 *	清浄光寺	聖戒(詞書) 法眼円伊(絵)	正安元年(一二九九)	国宝
13	出口遺跡出土 銭貨(六文銭)、火打鎌・石、陶器	当館		十六・十七世紀	
14	三新田遺跡出土 刻書土器	当館		平安時代	
15	宇東川遺跡出土 刻書土器	当館		平安時代	
16	東平遺跡出土 刻書土器	当館	個人蔵(当館寄託)	平安時代	
17	沢東A遺跡出土 玉類	当館		古墳時代(六世紀)	
18	中原第4号墳出土 土品	当館		古墳時代(六世紀後半)	
19	東平第1号墳出土 T字形利器	当館		飛鳥時代(七世紀中頃)	静岡県 静岡岡
20	四天王寺 奏河勝像 ※	東京国立博物館		古墳・飛鳥時代	
21	山古墳出土 単鳳環頭大刀把頭	宮内庁書陵部		古墳・飛鳥時代	
22	入道塚古墳出土 釵子・須恵器・土師器	宮内庁書陵部		古墳・飛鳥時代	
23	類聚三代格 卷十六	国文学研究資料館		古墳・飛鳥時代	
24	北条氏康像 ※	早雲寺		安政二年(一八五五)	
25	北条氏政像 ※	早雲寺	土佐光起	十七世紀	神奈川県 神奈川
26	武田信玄騎馬像 ※	法源寺		江戸時代	
27	北条家朱印状	個人蔵(当館寄託)		辰(永禄十一年(一五六八)十二月二十四日)	
28	北条家朱印状	矢部家文書		(永禄十一年(一五六八)五月十日)	
29	東照大権現像 ※	静岡市 静岡市		江戸時代	
30	豊臣秀吉像 ※	堺市博物館		江戸時代	
31	小田原陣/時海道筋諸城守衛図 ※	山口県立図書館/毛利家文庫		正保四年(一六四七)	幸田町
32	松平家忠像 ※	駒澤大学図書館		天正十八年(一五九〇)二月部分	重要文化財
33	家忠日記 六卷 ※	国文学研究資料館		天和二年(一六八二)	
34	天和式年戌八月朝鮮人來朝二付駿州富士川船橋絵図	国文学研究資料館		天和二年(一六八二)	
35	天和二年戌八月朝鮮人來朝二付富士川船橋絵図	国文学研究資料館		天和二年(一六八二)	
36	朝鮮人來朝國共二 駿州富士川舟橋掛渡品々覚書	国文学研究資料館		天和二年(一六八二)	
37	朝鮮人來朝御用留	個人蔵/常盤家文書		宝暦十二年(一七三三)	
38	福願 道進	清見寺		正徳元年(一七一)	静岡県 静岡岡
39	富士川飯船橋御入用帳 ※	富士川研究資料館		享保十四年(一七三三)西四月十九日	
40	御東幸二付富士川御船橋掛渡方仕様御入用仕上帳	国文学研究資料館		明治二年(一八六九)三月	
41	再船橋取廻入足帳	当館/影山家文書		明治元年(一八六八)十月十六日	
42	還行船橋取廻御入用取調書上	当館/影山家文書		明治元年(一八六八)十二月	
43	御東幸船橋再度御掛渡二付手控	当館/影山家文書		明治二年(一八六九)三月三日	
44	御再幸船橋取廻御掛渡二付手控	当館/影山家文書		明治二年(一八六九)四月	
45	明治元年九月東海道富士川船橋四百分一略図	当館		明治元年(一八六八)	
46	富士川の川底から回収したといわれる錫	当館		十九世紀カ	
47	永代日記万年帳	当館/脇本陣野口家文書		安永六年(一七七七)西八月	

No.	資料名	所蔵先	作者等	年代	指定
48	河合橋御普請中土工并舟人足手間目論見帳	富士市立中央図書館		天保二卯年(一八三二)八月	
49	河合橋日履銭内渡渡時人足通	脇本陣鈴木家文書		天保二年(一八三二)九月	
50	東海道吉原宿分原宿迄之間依田橋村・鈴川村組合	富士市立中央図書館		天保二卯年(一八三二)九月	
51	河合橋掛替修仕様帳	脇本陣鈴木家文書		慶応四辰年(一八六八)正月	
52	大日本橋尺 ※	当館/脇本陣野口家文書		江戸時代	
53	河合橋より富士川	当館		江戸時代	
54	河合橋ヨリ富士川	個人蔵		近代	
55	河合橋ヨリ富士川	個人蔵		近代	
56	河合橋ヨリ富士川	個人蔵		近代	
57	河合橋ヨリ富士川	個人蔵		近代	
58	石版画 富士十二景 辰橋ヨリ富士	当館	渡邊忠久	明治二十四年(一八九一)九月二十日出版	
59	石版画 茶摘	当館	太田節次	明治二十二年(一八八九)	
60	石版画 吉原漆から便道越しの富士山	当館	清水市郎	明治二十二年(一八八九)四月二十六日出版	
61	石版画 駿州田子の浦	当館		文化七年(一八〇〇)九月	
62	東海道吉原宿和田川土橋保方御普請目論見帳	富士市立中央図書館		天保三年(一八三三)十月	
63	東海道吉原宿和田川土橋御修復御普請出来形帳	富士市立中央図書館		天保三年(一八三三)十月	
64	富士山 VIEW OF FUJI MT.	個人蔵		近代	
65	和田川からの富士山	個人蔵		近代	
66	御日付松平正徳江差出候村絵図面之扣	富士市立中央図書館	暗月堂文助	天保六乙未(一八三五)正月	
67	今度御普請御下向二付	個人蔵		正徳元年卯年(七一)十一月	
68	御日付松平正徳江差出候村絵図面之扣	個人蔵		天保十三年(一八四二)五月	
69	乍恐以書付御訴訟申上候御事	個人蔵		天保十三年(一八四二)五月	
70	三度橋諸人取調書	個人蔵		天保十三年(一八四二)五月	
71	調井川常飯橋被下通り掛替	個人蔵		明治二年(一八六九)二月	
72	調井川常飯橋被下通り掛替	個人蔵		明治二年(一八六九)二月	
73	常飯橋被下通り掛替并小飯橋絵図面平形之図	個人蔵		明治二年(一八六九)二月	
74	常飯橋被下通り掛替并小飯橋絵図面平形之図	個人蔵		明治二年(一八六九)二月	
75	東海道往還鹿図面(平垣村)	富士市立中央図書館		(万延元年(一八六〇)九月)十二月	
76	富士川架橋願書	松永家文書		明治九年(一八七六)十二月	
77	富士川架橋之儀二付上申	当館/島崎家文書		明治十年(一八七七)三月	
78	開橋御届	当館/島崎家文書		明治十一年(一八七八)一月十日	
79	絵葉書 富士川/富士	個人蔵		近代	
80	絵葉書 富士川/富士	個人蔵		近代	
81	絵葉書 富士川水神飯橋の富士	個人蔵		近代	
82	絵葉書 岩淵の富士	個人蔵		近代	
83	橋架賃金日ノ帳	当館/山崎家文書		明治十年(一八七七)九月二十日	
84	架橋賃金日ノ帳	当館/山崎家文書		明治十年(一八七七)九月二十日	
85	岩本村架橋日ノ帳	当館/山崎家文書		明治十一年(一八七八)十一月九日	
86	古写真(完成中の富士川橋) ※	富士市		大正十三年(一九二四)八月	
87	古写真(工事中の富士川橋) ※	富士市		大正十三年(一九二四)八月	
88	古写真(工事中の富士川橋) ※	富士市		大正十三年(一九二四)八月	
89	古写真(完成した富士川橋) ※	富士市		大正十三年(一九二四)八月	
90	富士川橋新築工事概要	個人蔵		大正十三年(一九二四)八月	
91	The Fujikawa-ashi for Shizuoka Kencho(富士川橋図面)	個人蔵		大正十三年(一九二四)八月	
92	古写真(富士川より見たる富士)	個人蔵		大正十三年(一九二四)八月	
93	古写真(富士川より見たる富士)	個人蔵		大正十三年(一九二四)八月	
94	古写真(被張工事中の富士川橋) ※	富士市		昭和六十三年(一九八八)	